

講義コード	11C0118300	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	神野 真敏	開講期	第2期
科目名	国際経済学2					神野 真敏		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	海外との貿易や企業のグローバルな活動からたいへん大きな利益を受けています。しかし、貿易による利益は国内の人々に等しくもたらされているとは限りません。海外からの安い輸入品に押されて市場から撤退を余儀なくされた国内生産者や、海外への進出によって雇用の減少や地域経済の衰退も懸念されます。このような海外とのかかわりあいは、複雑な影響を国内にもたらします。この国内にもたらされる影響を理論的に解説するのが本講義になります。								
到達目標	海外との関わり合いが国内経済にもたらす影響を理論的に理解できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で扱う内容に関して教科書や参考書を参照して予習してくる事。 さらに、授業後は配布資料と教科書を照らし合わせ、知識の定着に勤めること。 上記の予習と復習に学外において60時間を費やすこと。								
授業計画	【第1回】生産要素の国際移動（1） 【第2回】生産要素の国際移動（2） 【第3回】地域統合とその理論（1） 【第4回】地域統合とその理論（2） 【第5回】海外取引と国際収支（1） 【第6回】海外取引と国際収支（2） 【第7回】外国為替市場と外国為替レート（1） 【第8回】外国為替市場と外国為替レート（2） 【第9回】外国為替相場の決定理論（1） 【第10回】外国為替相場の決定理論（2） 【第11回】外国貿易と国民所得水準の決定（1） 【第12回】外国貿易と国民所得水準の決定（2） 【第13回】開放経済のマクロ経済政策（1） 【第14回】開放経済のマクロ経済政策（2） 【第15回】まとめと授業評価								
成績評価の方法	期末テストのみで評価します。								
フィードバックの内容	適宜理解度を測る調査を行い、そのフィードバックを授業内にて行います。								
教科書	『コア・テキスト 国際経済学』大川 昌幸（新世社）2015								
指定図書									
参考書	『国際金融』小川・岡野（東洋経済新報社）2016、『国際金融と経済』谷内（成文堂）2015								
教員からのお知らせ	国際経済学1と併修が望ましいです。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									